

安心だワン!ホルダー

ALIVE 特製「迷子札 & 注射済票」ホルダー



狂犬病予防注射時における「迷子札&注射済票」ホルダー配布活動

●プロジェクト名

「迷子の犬を家に帰そう」プロジェクト 参画へのご提案

実施団体：地球生物会議 ALIVE

- 団体住所：東京都文京区本駒込5-18-10-102
- 連絡先：電話 03-5978-6272 Fax. 03-5978-6273
- URL：<http://www.alive-net.net/>
- E-mail：alive-office@alive-net.net

■「迷子の犬を家に帰そう」プロジェクト 背景

- 2007年度には全国で約8.9万頭の迷子・放浪犬・負傷犬が行政に捕獲・収容されましたが、飼い主に返還された犬は約1.7万頭で、残りの7.2万頭のほとんどが殺処分されています。

※飼い主からの引き取り数は約4.4万頭で、所有者不明の犬の収容はその2倍となっています。

犬の捕獲や収容等にかかる**行政費用、さらに職員への負担は大変、大きいものがあります。**

- 捕獲・収容された犬の多くは首輪をつけていますが、鑑札・注射済票・迷子札の装着がなされていないため、身元の確認ができないことがほとんどです。

- 迷子になり放浪・徘徊している犬を速やかに飼い主の元へ返還できるようにすれば、犬の保護・捕獲・殺処分数を大幅に減少させることができます。

- この状況の改善は、**動物愛護管理推進計画にうたわれている犬の殺処分数の半減目標の達成に大きく寄与**します。

(→P.2 資料1参照)

●収容犬の1例(福島県)



鮫川村渡瀬田野上



鮫川村渡瀬青生野



小野町夏井字松太郎



三春町小滝



小野町



桑折町南半田



梁川町五十沢



月舘町字町



梁川町五十沢岡



会津坂下町新館



会津坂下町中泉



会津坂下町八日沢



会津美里町佐賀瀬川



会津若松市インター



会津若松市高野町

2007年度 行政に保護された犬が飼い主に返還された割合

数値は「返還数÷収容数=返還率(%)」※収容数は「所有者不明の引き取り数+捕獲数+負傷犬収容数」の総数

●自治体(都道府県・政令指定都市・中核市)ごとの返還率順位

※ALIVE調査データより

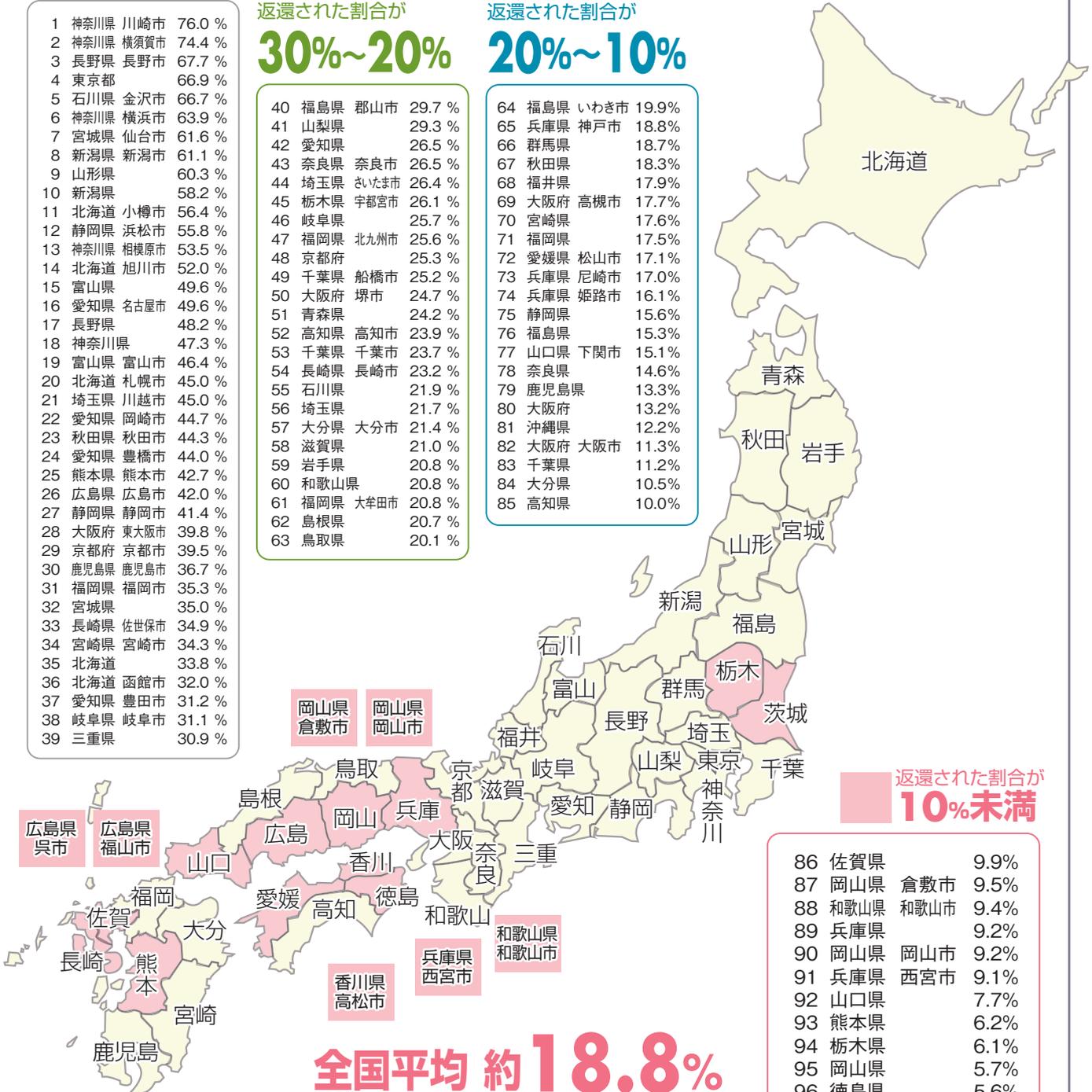
1	神奈川県 川崎市	76.0%
2	神奈川県 横須賀市	74.4%
3	長野県 長野市	67.7%
4	東京都	66.9%
5	石川県 金沢市	66.7%
6	神奈川県 横浜市	63.9%
7	宮城県 仙台市	61.6%
8	新潟県 新潟市	61.1%
9	山形県	60.3%
10	新潟県	58.2%
11	北海道 小樽市	56.4%
12	静岡県 浜松市	55.8%
13	神奈川県 相模原市	53.5%
14	北海道 旭川市	52.0%
15	富山県	49.6%
16	愛知県 名古屋	49.6%
17	長野県	48.2%
18	神奈川県	47.3%
19	富山県 富山市	46.4%
20	北海道 札幌市	45.0%
21	埼玉県 川越市	45.0%
22	愛知県 岡崎市	44.7%
23	秋田県 秋田市	44.3%
24	愛知県 豊橋市	44.0%
25	熊本県 熊本市	42.7%
26	広島県 広島市	42.0%
27	静岡県 静岡市	41.4%
28	大阪府 東大阪市	39.8%
29	京都府 京都市	39.5%
30	鹿児島県 鹿児島市	36.7%
31	福岡県 福岡市	35.3%
32	宮城県	35.0%
33	長崎県 佐世保市	34.9%
34	宮城県 宮崎市	34.3%
35	北海道	33.8%
36	北海道 函館市	32.0%
37	愛知県 豊田市	31.2%
38	岐阜県 岐阜市	31.1%
39	三重県	30.9%

返還された割合が
30%~20%

40	福島県 郡山市	29.7%
41	山梨県	29.3%
42	愛知県	26.5%
43	奈良県 奈良市	26.5%
44	埼玉県 さいたま市	26.4%
45	栃木県 宇都宮市	26.1%
46	岐阜県	25.7%
47	福岡県 北九州市	25.6%
48	京都府	25.3%
49	千葉県 船橋市	25.2%
50	大阪府 堺市	24.7%
51	青森県	24.2%
52	高知県 高知市	23.9%
53	千葉県 千葉市	23.7%
54	長崎県 長崎市	23.2%
55	石川県	21.9%
56	埼玉県 浦和市	21.7%
57	大分県 大分市	21.4%
58	滋賀県	21.0%
59	岩手県	20.8%
60	和歌山県	20.8%
61	福岡県 大牟田市	20.8%
62	鳥根県	20.7%
63	鳥取県	20.1%

返還された割合が
20%~10%

64	福島県 いわき市	19.9%
65	兵庫県 神戸市	18.8%
66	群馬県	18.7%
67	秋田県	18.3%
68	福井県	17.9%
69	大阪府 高槻市	17.7%
70	宮城県	17.6%
71	福岡県	17.5%
72	愛媛県 松山市	17.1%
73	兵庫県 尼崎市	17.0%
74	兵庫県 姫路市	16.1%
75	静岡県	15.6%
76	福島県	15.3%
77	山口県 下関市	15.1%
78	奈良県	14.6%
79	鹿児島県	13.3%
80	大阪府 大田市	13.2%
81	沖縄県	12.2%
82	大阪府 大阪市	11.3%
83	千葉県	11.2%
84	大分県	10.5%
85	高知県	10.0%



返還された割合が
10%未満

86	佐賀県	9.9%
87	岡山県 倉敷市	9.5%
88	和歌山県 和歌山市	9.4%
89	兵庫県	9.2%
90	岡山県 岡山市	9.2%
91	兵庫県 西宮市	9.1%
92	山口県	7.7%
93	熊本県	6.2%
94	栃木県	6.1%
95	岡山県	5.7%
96	徳島県	5.6%
97	広島県 福山市	5.2%
98	広島県 呉市	5.1%
99	香川県 高松市	4.1%
100	香川県	3.7%
101	長崎県	3.5%
102	茨城県	1.7%
103	愛媛県	1.7%
104	広島県	1.4%

全国平均 約 18.8%

※10頭のうち8頭以上の犬たちが
飼い主の元に帰る事ができません。

●6割以上の自治体が、**30%以下**の
返還率です。

※地図作成「日本にアニマルポリスを誕生させよう!」<http://www.animalpolice.net>

※青森市は県に委託

■鑑札・注射済票の現状

- 飼い主の義務とされる**鑑札・注射済票の装着率はきわめて低い**のが現実です。

犬の飼い主は、狂犬病予防法により、飼い犬を自己の居住する市区町村に登録し「鑑札」の交付を受け犬に装着すること、および毎年、狂犬病予防注射を実施し、交付される「注射済票」を犬に装着することが義務付けられており、違反した場合それぞれ20万円以下の罰金が課せられることになっていますが、現状では「鑑札」「注射済票」の装着率はきわめて低い状態です。

- 2007年に狂犬病予防法施行規則が改正され、2008年4月から鑑札・注射済票のデザインが自由化されたことにより、飼い主が付けやすく、あるいは付けたくなるようなデザインへの改訂が可能となりましたが、財源が乏しい市区町村では、新たな鑑札や注射済票を製造する予算がとれていない現状もあります。
- 装着率が低い理由のひとつは、犬の首輪に装着させる手間がかかること**にあります。また、**リングでぶら下げる構造であるため、邪魔になるといった難点**もあげられています。

●従来の鑑札と注射済票



●規則改正後の鑑札と注射済票



■「迷子の犬を家に帰そう」プロジェクト ご提案

当会では、迷子の犬を速やかに飼い主の元へ返還できるように、「迷子札&注射済票」ホルダーを開発しました(実用新案登録申請中)。

迷子・放浪犬の返還率の向上を推進するために、当ホルダーの装着を、狂犬病予防集合注射の機会を用いるなどをして行う事を提案いたします。

●ホルダーの配布と装着

- 市町村で毎年春から夏にかけて犬の狂犬病予防集合注射を実施する機会に、飼い主に当ホルダーを配布し、その場で首輪に装着してもらうことで装着率を向上させます。
- 行政の担当者、獣医師、動物愛護推進員等が直接飼い主と対面し、装着の必要性を記したチラシを配布・説明すること等で、啓発普及の効果をあげます。

●万一、迷子になっても

- 飼い主がホルダーを装着する際、迷子札を表側にすれば、迷子になっても犬を保護した人や警察がすぐに連絡でき、犬にも飼い主にも負担が少なくなります。
- 注射済票を表側にした場合は、収容した保健所等が市町村に照会をして飼い主を特定することができ、行政の負担も少なくなります。

●プロジェクトの効果

- 飼い主の連絡先明示により、保護・捕獲される犬の返還率を向上させ、犬の殺処分数を大幅に減少させるとともに、犬の捕獲・収容・処分にかかる公費負担や職員の労力を大幅に削減できます。
- 収容数の減少にともない、犬の保管期間の延長ができ、また一般譲渡の促進の方向へ労力を注ぐことが可能となります。
- 飼い主に対して犬を終生、責任をもって飼育することの啓発普及に寄与します。

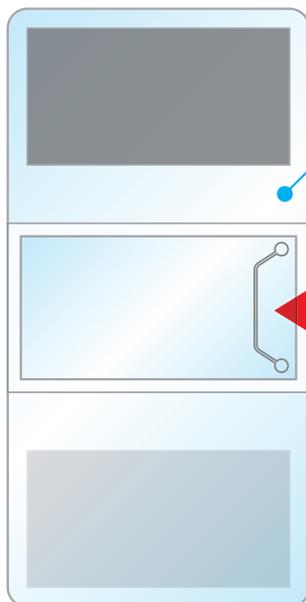
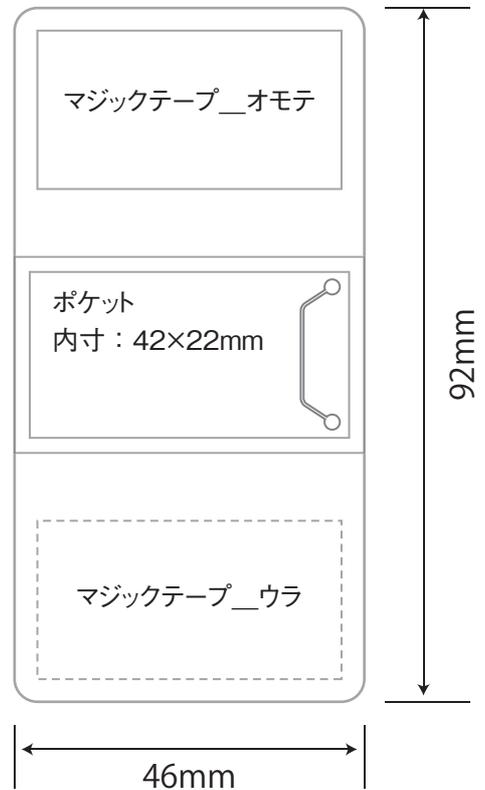
ALIVE 特製
「迷子札&注射済票」ホルダー

安心だワン!ホルダー

概念図

- 当会では、迷子札と注射済表示を兼用し、かつ簡便に首輪に装着できるホルダーを考案しました。
- このホルダーの最大の特性は、犬に首輪を装着したまま容易に取り付けられることです。
- この特性により、従来飼い主に手渡しされ、装着を飼い主に任せていた注射済票を、狂犬病予防集合注射の会場等において、その場で速やかに装着させることができます。

●原寸大



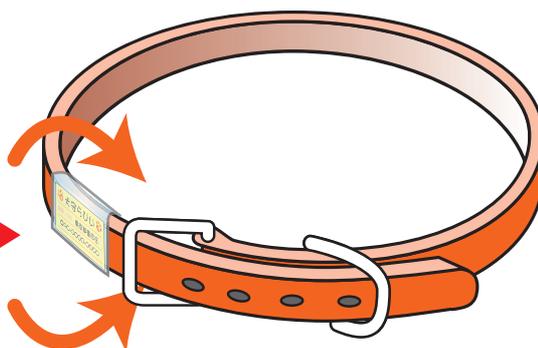
塩化ビニール



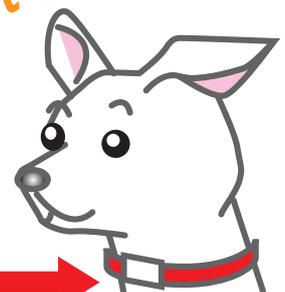
●迷子札

●注射済票

- 注射済票/迷子札は、背中合わせにセットしてください。この時に、オモテ側に見せたい方を後ろ向きにします。



これで安心♪



- ポケット部を内側にして、首輪に装着します。
- 犬から首輪をはずすことなく装着できるので、簡単です。

「迷子の犬を家に帰そう」プロジェクト

当プロジェクトではホルダーの配付に併せ「啓発・普及用リーフレット」の配付、「告知ポスター」のご提供、特設ホームページ上での、自治体の取り組みの発表等の連動で、将来にわたる効果の継続を図ります。



●啓発・普及リーフレット

- 所有者明示の必要性などを掲載します。

※各自治体ごとに、保健所・愛護センターのインフォメーションを掲載するなどのカスタマイズが可能です。

●プロジェクト進捗状況報告ホームページ

- 啓発・普及を目的とした内容に合わせて、各自治体の取り組みを紹介します。
- また、ホルダーを配付した結果の発表など、将来の活動に可能性を拡げます。



※画面イメージは企画段階のもの
です。

「迷子の犬を家に帰そう」プロジェクト



■「迷子の犬を家に帰そう」プロジェクトにぜひご参加、ご協力ください

所有者不明の犬の引き取りや捕獲、保管の頭数を削減したいと願う自治体では、当ホルダーの配布および啓発・普及のプロジェクトにぜひともご参加、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

※当ホルダーの原価はとても安価で、大きな費用対効果を期待できます。

■本プロジェクト協力メンバーのサイト

- 地球生物会議 ALIVEサイト「犬猫の殺処分の減少に向けて」
<http://www.alive-net.net/companion-animal/index.html>
- ALIVE福島内サークルしっぽサイト「迷子札プロジェクト」
<http://www.ac.auone-net.jp/~circle/CCP011.html>
- 「日本にアニマルポリスを誕生させよう！」サイト
「殺処分ゼロを目指してー自治体の施設にくる犬の運命」
<http://www.animalpolice.net/projectzero/>
- その他各地の動物愛護推進員、動物愛護団体、グループの協力依頼を予定